

文芸欄



俳句

宝愛句らぶ(中央区)

秋の旅夕暮れ早き木曾路かな
通勤のペタルも軽し紅葉晴れ
六甲の山夕紅葉かがやけり
野に山に秋の七草郷遠し
ウオーキングどんぐり見付け足止まる
激動の昭和世代よ木の実落つ
天ぶらの紅葉喰らいて滝道へ
草叢の虫の競演秋の夜

和子 悦子 千枝子 道子 恵子 和志 啓臣

梅の美会(兵庫区)

カンカンと一番電車そぞろ寒
秋風に黒猫ゆつたりみぎひだり
天高し逆さ橋立龍となる
濁り湯につかりて一句秋夜かな
木の実ころころと老の閑

山口 茂子 岡田富早恵 栗野 富江 山田 朝子 藤井 歌子

青葉クラブ(北区)

遠くなる昭和の話題秋惜しむ
金木屋掃き集む朝町静か
先を行く同行二人息白し

馬場みつえ 前川 弘子 山本 恒雄

高原ささゆり会(北区)

秋夕映え空燃ゆ山燃ゆ海燃ゆる
令和にも筆も馴染んで年新た
公家殿の恋の歌留多を探しけり
冷まじき朝の稜線朱を孕み
廃線の駅舎のベンチ夕花野

南 久美子 若林 節子 松村二三枝 山下 久一

ひまわり句会(北区)

賑わいの戻りし村の秋祭り
朝は白昼はピンクの酔芙蓉

辻 寿賀子 石井 敏子

ひよどり台句会(北区)

バツタ飛び交うリハビリの杖の先
秋夕焼パステルカラーの瀬戸の海

塩見 光子 田中 弘子

国生みの瀬をかけぬけし秋時雨
月下美人清し香りも七時間
店終ひ貼紙数多そぞろ寒

北斗句会(北区)

大戦と大患くぐりし生身魂
旬の物一皿で足る今年酒
秋深しけつねうろんの出前とる
菊人形巖流島の果し合い
登り窯すたれて久し草の花
むかご採る一合飯に足らぬ量
動の阿波静の八尾の風の盆
危うさを纏真昼の鳳仙花
空蟬の主いずこではたやら

見山台新樹会(北区)

幼子の笑顔はじける秋夕焼
シニアクラブ窓開け眺む秋の虹
道すがら少し気になるあけびの実
夕日浴び見て見て見ると紅葉かな
暖かき仲間集いて談笑し
稲わらを冬菜にきせて農事終ゆ
冬の月廃校の屋根芸青し

福寿草句会(須磨区)

虫の音に耳をあづけて眠りけり
誘ふ声応ふる声や虫の闇
満月や九十年生き抜いて
輪にならぬ小さな町の盆踊

多間台ときわ会文芸部(垂水区)

天高く老いらくの恋貫らぬかん
桃山台クラブ文芸部(垂水区)
両家族引き連れ詣でる七五三
半袖を咎める風や夕散歩

さらく句会(西区)

金木屋白杖の足止めさせる
干し柿の並ぶテラスに夕日さす
爪塗つて饒舌になる秋の声
佇めば人も寄り来る吾亦紅

筒井 豊子 中井 光子 矢谷登美子

久松 礼子

岸下 庄二 脇坂有多子 松本 洋子 黒田 久江 秋山 弘之 小段 安德

松隈 弘子

佐溝満喜子 丸尾 嘉子 高石 勝行 藤田 和夫 夏永 弘子 石本 宏一

上原 綾子

松下修二郎 岩田美代子 林 慎一

木村 敏博

田畑美恵子 大上 昭敏

喜田 弘征

阪本 道子 田野 育利 森本 珠実

秋深し初雲海の竹田城
星隠れ闇流れ来て鍋支度

個人

省エネで見事湯たんぼ返り咲き
野天の湯方言あふる夜長かな
紅葉狩嵯峨嵐山千の美止
障子貼る孫指につばつけ外を見る
青空や赤唐辛子天迎ぐ
病窓へ上がつてきたる虫時雨
京町の湯葉の吸物菊日和
展望台初冬のふる里眼下の景
病む指の手折る一枝金せん花
お月さま晩秋の夜空照らす
紅葉のトンネル深き夢心地

川柳

桂木ひふみ会(北区)

AIに取捨選択は任せませす
色めがね捨ててしまえば素が見える
夕焼けが燃え盛るさま空澄み
夕日が沈む今日も一日ありがとう
ネットカフェ心のうさの捨てどころ

筑栄会(北区)

微笑みがなぜか気になるくせの人
くせはなしなくてなくせうそをつき
練習は良いくせつけて天才に！
クマが出た疲れて眼の下隈が出た
居てくれるただそれだけの母でいい
虫達は花の蜜すい恋となる

個人

行く所することある人いい笑顔
小言ばあさんは逃げるが勝ちと夫言ひ
大手術三途の川で帰えされた
炎天と腰痛持ちで手抜きなり
仕舞い事田畑売りたい買手無し
お年玉あげるつもりがもたらう人
秋色に天を染めてる金木屋

大橋 治子 尾上 正紀

北田 建樹

都倉 知子 福井 悦子 山上 幸子 山田キミ子 高橋 純子 藤本 和恵 山田としゑ 芝田 律子 濱頭ミノル

荒木 宗Q

京念久美子 笹岡 淑子 杉尾 悦子 大和ケント

かほう よし 三茶 あきら まさこ まり子

辻本美佳子 早川キミエ 増田 芳之 植田きみ子 北野 利一 宮内美栄子 小高 肇

短歌

花山短歌会(北区)

小春日のしつかりしたる光合成青ネギ摘みて納豆ごはん
スーパに売られし西瓜カットされがぶりと食べた昭和の夏よ
稲刈りの終わるやいなや雀たち田んぼめがけて右往左往と
恒例のフアッションショウは無事終るつくり置く未発表の服を着て
道の落葉だれが掃きしか取り去られ土に草芽の僅かに見ゆる
オリオンの覗く軒下濯ぎたるシャツ掛けるとき秋も深まる

船崎めり子 清水 恵子 磯元カヨ子 山田加壽代 木下いく子 古林 保子



個人

紫のつぶらなる実や古を誘ふ雅の歌人よ二夜の月よ
炎天に夏草しげりセミの声赤きサルビア猛々しくて
我の背とコスモスの花とせいくらべ写真パチパチ幸せとどけ
夕闇の空に消えゆく国際便姪の家族は異国へ転居
曇り日の山のいずべかくみ鳴く山鳩の声静寂にわたる
赤い羽根金木屋の香りのせ助けあう心拡がれ福祉
蜜の香の怪しく誘ふ草むらに見つける一点くずの紅
わけありと書かれしりんごひと盛の蜜を含みて甘きに笑まう

(灘) 上田 節子 (北) 箱守喜久子 (北) 眞木香代子 (須) 江口 啓子 (垂) 堀江千生子 (西) 吉野 洋子 (西) 増田 當代 (西) 松浦 妙子

とっておきの作品



「たつ年」 [北区]塩田福寿会 北野 利一



【中央区】相川寿会 高橋 洋子

あとがき

新年が始まり、辰年の幕開けです。後にも広報紙を通して各地区や単位の活動を紹介しますので、日頃の活動の参考になれば幸いです。辰年は、新たな飛躍の象徴です。皆様にとって、2024年が素晴らしい一年となりますように、これからも健康長寿を目指してともに頑張りましょう。

令和6年度 神戸市シルバーカレッジ学生募集

◎願書受付期間

令和6年1月15日(月)~1月26日(金)【必着】

◎願書配布

区役所、区文化センターなどで配布(無料)

◎募集コース

健康ライフ、国際交流・協力、ECOライフ各コース 総合芸術コース(美術・工芸、音楽文化、園芸、食文化各専攻)

※学校説明会を1月15日(月)~1月19日(金)に開催します。(事前申込制)

※詳しくはホームページまたは学生募集案内(願書)をご覧ください。お問い合わせは事務局まで

神戸市シルバーカレッジ事務局

神戸市北区しあわせの村1番16号

Tel 078-743-8100 http://kobe-sc.org